



たいぎ 議会だより

No.186

2021
令和3年
10月発行



決算認定

令和2年度決算を振り返る …………… P4~5

一般質問

7名の議員が8項目を問う

「大樹町の観光と町の活性化」「スマートフォン街区事業」など

…………… P7~14

※写真は、大樹町の大宗漁業である秋サケ定置網漁の様子です。近年、記録的な不漁が続き、今年は赤潮による被害もありましたが、びちびち跳ね銀色に輝く秋サケが水揚げされ、市場へ運びこまれました。今年の秋サケ定置網漁は、11月20日まで行われます。

発行／北海道大樹町議会

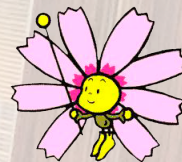
編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

し、費用を助成！！

陳情2件、報告2件、計画の策定1件、
条例の一部改正1件、補正予算5件、
決算認定8件、委員の任命1件、
意見書の提出3件を審議！！

白

熱議論を経て 令和2年度各会計決算を認定



令和2年度決算認定	歳入総額	歳出総額
大樹町一般会計	85億2,997万4,550円	83億721万3,291円
大樹町国民健康保険事業特別会計	7億1,382万6,342円	6億9,235万4,840円
大樹町後期高齢者医療特別会計	9,704万435円	9,655万3,674円
大樹町介護保険特別会計	7億717万2,257円	6億6,720万6,128円
大樹町介護サービス事業特別会計	4億1,663万3,783円	4億29万3,025円
大樹町公共下水道事業特別会計	2億9,833万6,008円	2億6,539万3,988円
大樹町水道事業会計	5億5,576万4,713円	7億6,164万1,576円
大樹町立国民健康保険病院事業会計	11億6,629万5,855円	11億1,078万197円

監

査委員意見書



澤尾廣美代表監査委員

令和2年度一般会計他各特別会計の決算審査は、予算の執行において関係法令に従い、適正かつ効率的に執行されているか、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類の照合、並びに住民福祉の増進という町行政の本旨に沿った執行が行われているかに主眼を置き延べ23日間審査を実施した。いずれの調書においても法令に準拠して作成されており、所定の期間内に出納閉鎖がなされ、関係諸帳簿及び証拠書類等と照合精査した結果、計数に誤りはなく正確であり、かつ関係法令にも適合し、予算の執行も概ね適切に行われたものと認める。

意

見書の提出

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

【提出先】 衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

【提出先】 衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

【提出先】 衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣

第3回
定例会

議案審議

9月7日～9月17日開催

事業者に対し PCR検査

新

たな計画を定める 大樹町過疎地域持続的発展市町村計画

全員賛成
可決

大樹町ではこれまでも「大樹町過疎地域自立促進市町村計画」を策定し、国による財政上の優遇措置を受けながら、産業の振興、交通通信体制の整備、医療の確保、生活環境の整備、教育の振興など取り組んできました。

令和3年4月「過疎地域の持続発展の支援に関する特別措置法」が施行されたことから、第5期大樹町総合計画の取り組むべき施策について、新過疎法に基づく特別措置を活用して地域活性化等の取り組みを積極的に推進し、非過疎地域となることを目指すため、令和3年から令和7年までの「大樹町過疎地域持続的発展市町村計画」が策定されました。

一

一般会計予算 2億5,609万9,000円を追加 地方創生臨時交付金を活用し予算を追加計上

全員賛成
可決

サテライトオフィスの設置 405万4,000円増額

テレワークを始めとする多様な働き方への対応や、新たな企業の誘致を促進し地域経済の活性化を図ることを目的に、経済センター3階にサテライトオフィスが開設されます。開設にかかる施設の整備費用や備品購入などの予算が計上されました。

事業者に対しPCR検査費用を助成 100万円増額

新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立支援のため、町内事業者が自主的に実施するPCR検査または抗原検査に要した費用の一部が助成されます。

ランニングマシンの購入 209万9,000円増額

コロナ禍による運動不足解消を目的に、らいふ健康増進室に設置する自走式、電動式のランニングマシンを各1台購入します。

行

政報告

北海道航空宇宙企画株式会社の解散

◎令和元年6月に設立した北海道航空宇宙企画株式会社は、これまで射場運営サービスの市場調査や射場等の整備資金調達などに取り組んできましたが、令和3年4月SPACECOTAN（スペースコタン）株式会社が設立され主な役割を引き継いだことから、令和3年9月2日に株主総会を開催し令和3年9月30日付けで発展的に会社を解散することを決議しました。

公立高等学校配置計画

◎9/7北海道教育委員会から令和4年度から6年度の公立高等学校配置計画が発表され、この計画の中でかねてから要請していた、大樹高校の2間口復活が実現しました。

算 審 査 特 別 委 員 会

安田議長と村瀬監査委員を除く10名で徹底審議！



健康増進を目的としたすっきりエクササイズ



交通手段確保となるコミュニティバス

問 船戸 健二 委員

時間外勤務が慢性的に多いことは良いと思わないが、減らす取り組みはしているのか

答 鈴木総務課長

担当者が所属長へ事前に申し出ることとし、休日に勤務する必要がある場合にはあらかじめ書面で届出をすることで時間を管理している。

答 黒川副町長

時期によって業務が集中することはやむをえず、管理職が業務分担の工夫をすることが必要と考える。

問 菅 敏範 委員

クーポン券発行事業の配付対象者数は

答 伊勢企画商工課長

4月10日時点で対象者数は5,480人で、その後、大樹町へ転入してきた31人へ配布し、住所不在で返送となった13人を除くと最終的な対象者数は5,498人となる。

問 西田 輝樹 委員

健康教育の取組内容と実施回数、講師謝礼は

答 井上保健福祉課長

ストレッチや筋力運動を行う「すっきりエクササイズ」と加齢に伴う運動器症候群改善を行う「いいサイズクラブ」を帯広から講師を招き実施している。すっきりエクササイズは39回、いいサイズクラブは28回で講師謝礼はともに1回につき13,000円。

問 志民 和義 委員

コミュニティバスの実証運行を実施していたが、本運行はいつから始めるのか

答 伊勢企画商工課長

今年度に再度、実証運行を行い、その実施結果を踏まえ、今後検討していく。

賛成

寺嶋 誠一 議員

健全化判断比率において、起債の償還が計画的に進んでいることなどから、健全な財政状況であることが評価できるとともに、予算も効率的かつ適正に執行されていると考える。よって、本案に賛成する。

決算討論 一般会計

志民 和義 議員

税の滞納者対策は、滞納整理機構に負担金を支出するのではなく、町職員で解決することが重要で、住民の事情をよく知る町職員には解決して行く力が備わっていると考える。よって、本案に反対する。

反対

賛成

寺嶋 誠一 議員

後期高齢者医療制度は、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、安定した事業運営が行われており、町の事務処理も適切に遂行されていると考える。よって、本案に賛成する。

決算討論 後期高齢者医療特別会計

志民 和義 議員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題なかったと考える。よって、本案に反対する。

反対



齊藤 徹 委員長

令和2年度決

9月13日～9月16日開催



避難所に整備されている備蓄品



利用減少となっている作法室

問 寺嶋 誠一 委員

スマート街区構築業務のエネルギーマネジメント会社設立についての進捗状況と会社を設立する場合の時期は

答 伊勢企画商工課長

町が主体で会社を設立し、必要な部分については専門業者に委託することを検討中。
現在では来年4月からの稼働を予定しているため、12月頃に会社設立を進めていく。

問 吉岡 信弘 委員

災害用備品の在庫管理の方法と賞味期限の近い物の取り扱い

答 鈴木総務課長

在庫はパソコンのデータで管理している。
賞味期限が近い物は町内会で防災訓練時に使用していたくようにしている。

問 辻本 正雄 委員

学校給食で別メニューのアレルギー食を提供している人数と普通食、アレルギー食のコストの違いは

答 楠本給食センター所長

小学校14名と中学校1名の全体で15名。
材料費では大差はないが、アレルギー食を提供する上での調理員の配置で人件費はかかる。

問 西山 弘志 委員

学習センター作法室の令和2年度の利用がないが今後の対応と使用料金はいくらか

答 清原社会教育課長

利用していた団体が解散したため、2年度の利用はなかった。
今後、後継する組織を立ち上げる働きかけが必要であり、使用料金は1時間430円。

表決の分かれた議案

※齊藤委員長は表決に参加しません

議案名	寺嶋 誠一	辻本 正雄	吉岡 信弘	西山 弘志	船戸 健二	松本 敏光	西田 輝樹	菅 敏範	志民 和義	齊藤 徹	結果
令和2年度大樹町一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	認定
令和2年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	認定

第3回
臨時会

議案審議

7月27日開催

専決処分の承認1件、
補正予算3件を審議!!

一

一般会計予算を追加補正

全員賛成
可決

TMO活動推進事業 471万2,000円増額

TMOで道の駅に整備する冷蔵冷凍ストッカー7台の購入に対する補助金の予算が追加されました。

問 齊藤 徹 議員

TMO事業として販売力を高めるためにどのような工夫をしているのか。

答 伊勢企画商工課長

大樹町でしか買うことができない、地元の特産品を販売していくことが魅力向上につながると考える。

歴舟川パークゴルフ場管理事業 22万円増額

緊急事態宣言により歴舟川パークゴルフ場を閉鎖としたため、指定管理者に対し売上金の差額等を補填します。

- ・既に購入済のシーズン券購入者に対し配布する商品券（1,000円）の購入代金を補填
- ・平成30年、令和元年の5月・6月の売上平均と今年度5月・6月売上平均値の差額を補填
- ・シーズン券販売代金の減額（-1,000円）に対し、販売枚数に1,000円を乗じた額を実績により補填



給食調理事業 135万6,000円増額

感染予防のための殺菌・洗浄効果に優れた超音波食器洗浄機1台を購入します。

水

道事業会計予算 330万円を追加補正

全員賛成
可決

坂下浄水場から相川配水池へ送る送水管の、コンクリート巻立て部分が露出したことにより破損するおそれがあるため、送水管を保護するために必要な工事の実施設計業務*委託料を追加補正しました。

大枠の工事費は3,000万円程度になる見込みで、時期については11,12月頃の予定です。

※**実施設計業務**…建築主と施工業者との契約に必要な詳細を決定し、工事施工に向けて工事費の具体的な積算を行うもの。

ここが聞きたい…。
私の質問したいこと。

ここはどうなっている…。
私の気になること。

町民の声を 町政に届ける

一般質問

町民の代表として7名の議員が8項目について質問しました



西田 輝樹 議員

◎脱炭素社会の実現に向けて
◎コロナウイルス対策について



西山 弘志 議員

◎大樹町の観光と町の活性化の取り組みについて

吉岡 信弘 議員

◎新型コロナウイルス感染症
予防対策について



寺嶋 誠一 議員

◎スマート街区事業について



村瀬 博志 議員

◎宇宙のまちづくりについて



志民 和義 議員

◎高齢者の補聴器購入助成について



齊藤 徹 議員

◎次年度（令和4年度）以降
公会計の考え方と財政運用
と確保について



◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

※1名につき1ページを割り当て、内容を要約して掲載しています。

ここが聞きたい!

一般質問

質問

ゼロカーボン宣言の考えは

答

町全体の脱炭素化に向けた方策を確立し
実現に向け取り組む

Q1 脱炭素社会の実現
に向けて

質問 脱炭素社会に向けた計画や調査事業の予定は。

答 (酒森町長)

改正地球温暖化対策推進法では、政令指定都市を除く市町村に努力義務として、地方公共団体実行計画に再生可能エネルギー利用促進等の施策と実施目標を定めることが盛り込まれており、今後の動向を注視しながら検討する。

質問

町内におけるバイオマス利用発電や太陽光発電の状況と計画について。

答 (酒森町長)

稼働中の3基の家畜ふん尿由来のバイオガスプラントのうち、2施設が発電設備を有している。今後の計画では、整備を決定、又は整備が見込まれる単独施設が4法人4施設、複数経営体の共同処理を行う集合プラントが1施設。2法人で単独施設の整備を検討中と聞いている。太陽光発電は、発電容量10kW未満が88件、発電容量10kW以上が52件となっている。

質問

二酸化炭素吸収の観点からの森林整備について。

答 (酒森町長)

町有林については、所要の予算を確保し、計画的に整備を進めている。私有林整備についても、

造林意欲を高める支援措置を講じている。

質問

ゼロカーボン宣言の考えは。

答 (酒森町長)

地域全体の脱炭素化に向けた方策を打ち出したうえで検討する。

Q2 コロナウイルス
対策について

質問

ワクチン接種の終了予定と現況は。

答 (酒森町長)

予約された方の接種は9月末までに終わる見込み。今後、12歳到達者や未接種の転入者等に対し接種を行う。

答 (酒森町長)

基本的な感染対策を徹底することが肝要と考える。学校では、毎日の検温に加えて健康観察を実施し、発熱がなくても風邪症状があった場合は、登校を控えていただいている。給食時の黙食、手洗いの徹底、常時換気の実施、消毒作業も継続している。児童に感染が確認された場合は、国から示されているガイドラインを踏まえ、保健所とも協議し、最小限の感染に抑えてまいりたい。学童においても、学校と同様に基本的な感染対策を徹底している。

質問

学校や学童などのクラスター対策について。



西田 輝樹 議員

町内牧場のバイオガスプラント



ここが聞きたい!

一般質問

観光客の呼び込みとなる巨大絵本



質問

日高山脈襟裳十勝国立公園化に向けての取組は

答

関係機関と連携を図りながら情報発信やPR活動に努める

質問

安全・自然保護対策、

答 (酒森町長) 環境省は日高山脈襟裳国立公園とその周辺地域の国立公園化に関する方針を決定しており、国立公園化に向けた活動が実施されている。国立公園化により全国的な知名度が高まり、多くの観光客が来町されることが期待され、今後、関係機関と連携を図りながら情報発信やPR活動に努める。

Q1 大樹町の観光と町の活性化の取り組みについて

質問

日高山脈襟裳十勝国立公園化に向けた取組について。

林道・登山道の整備、ゴミ・トイレ問題等多くの課題について、今から町独自の準備が必要では。

答 (酒森町長)

必要な対応については、国立公園化が正式に決まった段階で、日高・十勝の関係自治体で構成している連絡会と、統一的な見解を進めていく必要があると考える。

質問

国立公園の名称に「十勝」を入れることにより、十勝のPRにつながるかと考えるが。

答 (酒森町長)

国立公園化後の名称については、十勝町村会としても「十勝」を加えることを要望している。

質問

国認定の自転車走行路「トカプチ400」の取組について。

答 (酒森町長)

道内初となる「ナショナルサイクルルート」の指定を受けた。今後、国内外から多くの観光客の訪問が見込まれ、町の観光振興につなげたい。

質問

「トカプチ400」のサイクルルートと町の観光施設や商店・飲食店をつなげる、町独自のサイクルルートを考えては。

答 (伊勢企画商工課長)

「トカプチ400」のサイクルルートは、コス

モール道の駅をはじめ多目的航空公園、晩成温泉付近等、市街地を含め大樹町の観光地を通るルートとなっており、このルートを活用し、町の観光振興につなげていきたい。

質問

巨大絵本オブジェと観光の取組について。

答 (酒森町長)

フォトスポットとなるよう広く周知を図ってきたい。

意見

観光客等の呼び込みのための名所づくりや、町内の環境美化等によるイメージアップを図る必要があると考える。



西山 弘志 議員

ここが聞きたい!

一般質問

質問

妊婦への優先接種の考え方は

答

国の指示があり優先接種に配慮する

Q1 新型コロナウイルス感染症予防対策について

質問

新型コロナウイルス感染症はデルタ株の感染拡大で、低年齢にも感染力が強く、重症者も増えている。3回目のワクチン接種の話もある中、妊婦への優先接種の考え方は。

答 (酒森町長)

消防職員は、医療従事者等の扱いとなっており、今後も国の指示に基づき優先接種を実施する。

答 (瀬尾保健福祉課参事)

消防職員のワクチンの確保、支給は北海道が行っており、1回目の接種の際には病院職員よりも少し遅れた。

質問

町内の年代別のワクチン接種率は。

答 (酒森町長)

8月30日現在、20代80・7%、30代75・3%、40代83・6%、50代87・8%、60代94・1%、70代以上は95・2%となっている。

質問

満12歳の小学生、中高生へのワクチン接種推進の考え方は。

答 (酒森町長)

8月30日現在、高校生相当の年齢で1回目の接種を終えた方は、対象者116名中86名、中学生137名中77名、満12歳の小学生は0名で2名が予約している。ワクチン接種後の副反応や長期間の安全性のデータがない等の理由から接種を見合わす方が少なくないと認識している。接種する場合はのメリットとデメリットを理解し、接種を判断することが肝要と考える。

質問

小中学校のドアノブ等

答 (板谷教育長)

小中学校は、教職員により、利用した全ての部屋の消毒作業を行っており、小学校はボランティアの方にもご協力いただいている。

現行の消毒作業で、感染対策に万全を期したいと考えている。

質問

抗ウイルス加工をし、かつ教職員による消毒をすれば、接触による感染対策がより万全になると思うが。

答 (板谷教育長)

検討させていただく。



新型コロナウイルスワクチン接種



吉岡 信弘 議員

ここが聞きたい!

一般質問

CO₂削減に効果のある木質チップ



Q1 スマート街区事業について

質問

スマート街区事業の供給能力として、今後供給施設が増えても可能か。

答 (酒森町長)

太陽光発電の発電量は供給施設全体の電力使用量の約16%を賄う計画で、木質チップボイラーによる熱供給量は、既存ボイラー燃料の約82%を賄う計画である。供給施設が増えた場合でも、電力ピーク時に蓄電池からの放電により、ピークカットを行うことで契約電力の超過を抑え、木質チップボイラーを接続することで、化石燃料ボイラーの規模を縮小するなどメリ

ットが大きいと考える。

質問

設備更新時期にスレが生じる可能性があるが、計画稼働期間25年の見込みで大丈夫か。

答 (酒森町長)

耐用年数を基準にして25年のスパンで更新計画をたて、ランニングコストを積算している。稼働期間は25年で完了ではなく、25年経過後も設備の更新等を図りながら事業を継続していく。

質問

町としての今後CO₂削減の取組は。

答 (酒森町長)

北海道の補助事業を活用して、家畜ふん尿由来

のバイオガスを活用した実証事業を行なう。地域内の未利用バイオマスである乳牛ふん尿からエネルギーを創出することで、化石燃料の消費量を減らす仕組みを構築し、CO₂排出量の削減につなげた

質問

木質チップのコストダウンについて。

答 (酒森町長)

木質チップボイラーの導入は、CO₂排出量の削減のみならず、地元林業の活性化や森林資源の地域循環を図ることも目的としている。地域循環を図っていくために、地元林材の木質チップを利

意見

本事業はエネルギーマネジメントであり、施設の電気・熱供給の一元管理により、各施設のランニングコストやCO₂の削減効果も期待される。また、災害時の対策も併せ持つ貴重な施設になる。次のエネルギー政策として、家畜ふん尿を利用してバイオマス事業も積極的に進め、ゼロカーボン宣言を早期に実現していただくことを期待する。

質問

答

北海道の補助事業を活用した実証実験を行なう

町としての今後CO₂削減の取組は



寺嶋 誠一 議員

ここが聞きたい!

一般質問

質問

町と町民の思いに温度差があるのでは

答

喜びの声、激励の言葉を多数いただいている

Q1 宇宙のまちづくりについて

質問

インターステラテクノロジズ社（I・S・T社）とどのように連携を取って今後進めていくのか。

答（酒森町長）

MOMOの打上射場として使用している土地の貸与、打上時の警備等への町職員の協力、ガバメントクラウドファンディングを活用した補助など、様々なかたちで支援をしてきた。I・S・T社では、2023年度にZEROの打ち上げを計画している。その打ち上げに間に合うように、射場の適合認定に向けた国との事前協議や射場等の基本設計に取り組む。

質問

町民の宇宙のまちづくりに対する理解や関心についてどのように感じているか。

答（酒森町長）

近隣の町民の皆様をはじめ、漁業者の方々や関係機関の皆様のご理解・ご協力がなければ進められない。長年の取組により、町民の皆様の宇宙のまちづくりに対するご理解・ご協力をいただけていることが、大樹町に北海道スペースポートの整備拡充を進める上で大きな強みになっている。

質問

今後、町と町民が一体となって宇宙のまちづくりを進めていくために必要なことは。

答（酒森町長）

北海道スペースポートの整備拡充に向けた進捗状況等を広報紙やホームページ等を通じてお知らせするとともに、関係行政区長や商工会・観光協会・農協・漁協など、関係機関の皆様で構成される大樹町航空宇宙産業基地研究会等で報告するなど、宇宙のまちづくりに関する情報の発信に積極的に取り組むたい。

質問

宇宙のまちづくりに対する町と町民の思いに温度差があるのではと感じるが。

答（酒森町長）

MOMO7号機、6号機の打上成功の際には、多くの町民の皆様から喜びの声、激励の言葉を多数いただいた。コロナ禍により、町民の皆様が打上実験に関わる場面が構築できないこともあり、打上を身近に感じる機会が減っている。町内にはI・S・T社を応援する、町民有志の後援会組織も立ち上がっており、打上の際には、応援のほりの設置や、打上会場の駐車場の誘導等にも尽力いただいている。関わりをもつてくださる町民が多数いることをご理解いただきたい。



村瀬 博志 議員

観客が集まるスペースフェスタ



ここが聞きたい!

一般質問

難聴者の助けとなる補聴器



Q1 高齢者の補聴器購入助成について

質問

加齢性難聴者への補聴器購入の助成を行っている自治体がある。

早い段階から補聴器を使用することで、進行が遅くなると聞いている。

現在、十勝管内で加齢性難聴者に補聴器購入の助成をしているところは何か所あるのか。

答 (酒森町長)

十勝管内では4町が助成している。

質問

大樹町でも補聴器購入に助成してはどうか。

答 (酒森町長)

難聴者に対する補聴器購入の補助制度としては、障害者総合支援法の補装具支給制度に基づき、聴覚機能障害2級から6級の身体障害者手帳の交付を受けている方を対象に、購入限度額に対し、住民税非課税の方は全額を公費負担、課税の方は9割を公費負担として、国が2分の1、北海道が4分の1、町が4分の1を負担して実施している。

加齢性難聴者に対しては、国及び北海道の補助制度がないため、昨年同様のご質問にお答えしたように、引き続き情報収集を進め、必要であると判断に至った段階で事業化に向けて検討する。

質問

補聴器は精密機械であるため価格が高く、年金で生活されている方々は購入をためらうという話も聞いている。

難聴によるコミュニケーション障害で、日常生活に支障をきたすこともあり、難聴者にとって補聴器は必需品であると考える。

早い段階で使用することで、進行を遅らせる効果があると聞いており、認知症、うつ病の予防や進行を抑え、健康寿命の促進につながる。補聴器の助成を行う自治体も増えており、必要と判断する段階に至っているのではないか。

答 (酒森町長)

引き続き情報収集を進めたい。

加齢性難聴者の社会的参加を促す意味でも、1日でも早く助成を行ってはどうか、再度伺う。



答

必要であると判断に至った段階で検討する

加齢性難聴者への補聴器購入助成の考えは

質問



志民 和義 議員

ここが聞きたい!

一般質問

質問

航空宇宙構想の特別会計の設置、
予算科目「^{もく}目」の新設を

答

当面は一般会計の中で、「^{もく}目」は今後検討したい



齊藤 徹 議員

Q1 次年度（令和4年度）以降公会計の考え方と財政運用と確保について

は上昇傾向にあり、財政構造の弾力性が低い状態であることから、実質単年度収支や経常収支比率の改善に取り組む。

答（酒森町長）

2025年までのプロジェクトのため、一般会計の中で取り組んでいく。事業が進みボリュームが明確になった段階で考えたい。

答（黒川副町長）

研修の必要性については以前より言われており、町の財政がどう成り立っているかも含め、講師を手配し実施していきたい。

質問

自主財源確保、現在の徴収状況をどのように認識しているのか。また、新しい財源の考え方は。

質問

大樹航空宇宙基地構想の、年度変更（延長）はあるのか。総事業費、それに伴う寄付金の額は。

質問

今後も一般会計で進めていくなら、新たに宇宙推進費（仮）の予算科目「^{もく}目」を新設しては。

質問

新地方公会計に備え、財政係の人事配置、特化した職員の採用や公認会計士への一部委託もあると考えるが。

答（酒森町長）

歳入歳出のバランスを考慮した計画的な事業実施を進めていく必要があると考える。

答（大塚企画商工課参事）

2025年度完了を指して整備し、令和8年度以降はその時点で検討したい。総事業は50億円程度で、うち25億円は個人版と企業版の寄付金で、残りは国の交付金で賄いたい。

答（黒川副町長）

「^{もく}目」については町で決められるので、今後検討したい。

答（酒森町長）

専門職の配置、公認会計士への一部委託は、今後検討していかなければと考える。すべての職員が事務事業を機能できるような人事配置を行わない、働きやすい環境づくりに意を注いでいきたい。

質問

過去5年間の主要財政指数の評価に対する問題点や課題、長期財政計画について。

質問

次年度に向け、航空宇宙基地構想の特別会計を設置してはどうか。

質問

係長・主幹職の財政研修が必要と考える。公認会計士の講師派遣に取り組んでどうか。

答（酒森町長）

計上収支比率について



2023年運用開始予定のLC1



一目でわかる 審議結果

全会一致の議案

第3回臨時会	専決処分した事件の承認について 町内で身寄りのない高齢者が亡くなり火葬を行う方が早急に判明しないこと、早急に葬儀を行う必要があったことから墓地理葬等に関する法律に基づき、死亡地の市町村長が火葬を行うこととされているため委託料を増額し、一般会計補正予算について承認しました。	承認
	令和3年度大樹町一般会計補正予算（第4号）について 歳入歳出それぞれ44万7,000円を追加し、予算の総額97億1,721万7,000円をとしました。	原案可決
	令和3年度大樹町水道事業会計補正予算（第2号）について 資本的支出の予定額を2億6,851万2,000円としました。	原案可決
	令和3年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号）について 収益的収入・支出の予定額をそれぞれ11億693万円としました。 資本的収入の予定額を4,661万円とし、資本的支出の予定額を4,795万円としました。	原案可決
第3回定例会	令和2年度健全化判断比率について 令和2年度の健全化判断比率は、監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告されました。	報告済
	令和2年度資金不足比率について 令和2年度の資金不足比率は、監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告されました。	報告済
	大樹町過疎地域持続的発展市町村計画について 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が本年4月に施行され、北海道から同意を得られたため、新たに定めました。	原案可決
	過疎地域対策のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が本年4月に施行されたことに伴い、過疎地域対策のための固定資産税の課税の特例に関する条例について所要の改正をしました。	原案可決
	令和3年度大樹町一般会計補正予算（第5号）について 歳入歳出それぞれ2億5,609万9,000円を追加し、予算の総額99億7,331万6,000円をとしました。	原案可決
	令和3年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）について 歳入歳出それぞれ341万2,000円を追加し、予算の総額7億391万2,000円をとしました。	原案可決
	令和3年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出それぞれ4,224万5,000円を追加し、予算の総額7億6,734万5,000円をとしました。	原案可決
	令和3年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）について 議会の議決を経なければ流用することのできない経費である給与費を7億8,053万1,000円としました。	原案可決
	令和3年度大樹町下水事業会計補正予算（第2号）について 収益的収入の予定額を4億5,728万円としました。資本的収入の予定額を4,829万5,000円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町一般会計決算認定について 令和2年度歳入85億2,997万4,550円、歳出83億721万3,291円の執行について認定しました。	認定
	令和2年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算認定について 令和2年度歳入7億1,382万6,342円、歳出6億9,235万4,840円の執行について認定しました。	認定
	令和2年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定について 令和2年度歳入9,704万435円、歳出9,655万3,674円の執行について認定しました。	認定
	令和2年度大樹町介護保険特別会計決算認定について 令和2年度歳入7億717万2,257円、歳出6億6,720万6,128円の執行について認定しました。	認定

次のページへ続く

第3回定例会	令和2年度大樹町介護サービス事業特別会計決算認定について 令和2年度歳入4億1,663万3,783円、歳出4億29万3,025円の執行について認定しました。	認定
	令和2年度大樹町公共下水道事業特別会計決算認定について 令和2年度歳入2億9,833万6,008円、歳出2億6,539万3,988円の執行について認定しました。	認定
	令和2年度大樹町水道事業会計決算認定について 令和2年度歳入5億5,576万4,713円、歳出7億6,164万1,576円の執行について認定しました。	認定
	令和2年度大樹町立国民健康保険病院事業会計決算認定について 令和2年度歳入11億6,629万5,855円、歳出11億1,078万197円の執行について認定しました。	認定
	教育委員会委員の任命について 教育委員会委員に、神山良仁氏を任命することに同意しました。	同意
	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書に関する陳情書 社会一般の福祉と利益に関連し、公益性が認められることを念頭に詳細な調査が必要であるため、継続審査としました。	継続審査
	「核のごみ受け入れ阻止条例」の制定についての陳情書 放射性物質や放射性廃棄物、原子力政策に関する理解・知識を深める必要があるため、継続審査としました。	継続審査
	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策を充実強化するよう要望する意見書を提出しました。	原案可決
	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について 地方創生、雇用対策、財政需要の増大が見込まれる社会保障等への対応に不可欠である地方税財源の充実を要望する意見書を提出しました。	原案可決
	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について 長期安定的な道路整備を充実強化するよう要望する意見書を提出しました。	原案可決

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**12月**です。
ぜひ気軽に傍聴にお越しください。

詳細は議会事務局へお問い合わせください。

TEL 6-5035

請願・陳情はどなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

広報広聴常任委員会



委員長 辻本 正雄
副委員長 西山 弘志
委員 船橋 敏光
委員 齊藤 徹
委員 寺嶋 誠一

編集後記

町内においては新型コロナウイルスワクチンの接種が進み、感染に対する不安が緩和されてきたと思います。

感染拡大防止対策をしつかりと行い、2年ぶりに柏林公園まつりが開催され、多くの町民が久々に町内のイベントを楽しみ1日を過ごされました。

また、夜には歴舟川河川敷でサブリズ花火を打ち上げ、大輪が次々と夜空を彩りました。

新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息するよう待ち望む花火に見えました。

副委員長 西山 弘志